

# NKオンリーワン通信

VOL.37

新年明けまして  
おめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願いたします。

発行：新潟北高等学校

25011537



今年の干支は「蛇」。執念深いと言われる蛇であるが恩も忘れず、助けてくれた人には、恩返しを行うと言われている。また、この干支は探究心と情熱が特徴とされており、さらには 蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させるとも言われている。もし落ち込んでいる人がいたらぜひ復活と再生をかけて頑張ってもらいたい。

いずれにしても心機一転、皆様にとって、今年が良い年となりますように。

## もちつき交流体験実習～H24.1.11



さて、恒例となった県立幼稚園との交流体験実習「もちつき」。当日は天候も穏やかでなんだかいい予感。今回の参加生徒は2学年女子のみ9名。引率の先生のクルマに分乗して県立幼稚園へ出発。

到着後はまず身支度、園児とのふれあい方等の注意事項を確認。責任ある立場を自覚し、いっそう気合が入る。その後手分けをして用具の確認と会場の下準備。幼稚園の先生方の事前準備のおかげと引率の先生方の的確な指示で順調に作業を進める。

そうこうしているうちに遊戯室にいよいよ園児たちが集合。「おはようございまーす！」元気でかわいらしすぎる園児たちに参加者はいきなり魅了されてしまった様子。さあ、交流開始！

### <顔合わせ交流>



幼稚園渡辺先生の進行により、参加生徒が園児の前に整列。生徒を代表して2名が大きな声であいさつ。その後園児たちと「アイアイ」「幸せなら手をたたこう」の2曲をいっしょに歌う。手拍子や足拍子、園児たちとのかけ合いもうまくいって集会終了。だいぶ緊張もほぐれてきたぞ。

園児たちはいったんクラスへ戻る。

### <もちつき>

この時間を利用してすばやくもちつき会場の準備。お餅屋さんの協力を得てなんとか準備完了。まずは本校引率教諭がもちつきの見本を披露。派手なアクションもあり、雰囲気が一挙に盛り上がる。園児からの「園長先生ついてくださいーい！」のリクエストに応え、園長先生（新潟北高校長が兼務）も豪快にもちをつく。いよいよ年長「ほし組」さんによるもちつき。参加生徒から付けてもらった豆絞りの手ぬぐい姿も凛々しく、2人一組で交互に10回ずつついていく。「よいしょー！」のかけ声は一段と大きさを増していった。

同時進行で、すでにつき上がっているおもちを使って「きな粉もち」の作成を開始。引率の先生及びお餅屋さんの指導の下、参加生徒の手によって次々とおよそ100人分のきな粉もちが作られていく。



### <いただきます>



園児たちがいったん退場した後、皆で食事会場を設営し、配膳準備。

年少さんはクラスで食事。年中の「さくら組」さん、年長の「ほし組」さんが席についておもちとお茶を配膳。園長先生、幼稚園の先生、引率の先生、そして参加生徒全員、そうそうお餅屋さんも、みんながそれぞれのテーブルに着いたところで、参加生徒代表による「いただきます」。賑やかな会食が始まった。テーブルごとに会話が弾み、参加生徒もすっかり園児たちと

打ち解け、楽しい時間を過ごした様子。

昨年までは「お汁粉」、今年は「きな粉もち」。参加生徒作成のきな粉もちはなかなか好評で、園児たちはおかわりをたくさんしてくれた。

代表生徒の「ごちそうさまでした」で楽しい時間もいったん修了。

### <一緒にダンス>

後片付けと撤収作業を急いで行い、園児とのダンスの時間。園長先生、参加生徒も一緒に「セブンスステップス」を元気に踊る。途中めまぐるしく変化する曲のテンポにもなんとか対応、笑顔の絶えない楽しいダンスとなった。

### <お別れの会>

楽しいひと時もあっという間に終了時刻。園児の前で生徒代表2名が感想を発表したあと、園児たちとお別れ。最後は参加生徒全員が1列に並び、園児たちとハイタッチでさようなら。「またお話ししようね」「今日はありがとう」「元気でね」それぞれ思いを言葉に乗せて夢のような時間は終了した。

参加者は園長先生から講評をいただいたあと、入念に後片付けをして幼稚園を後にした。



幼稚園の先生方のお陰で、そして園児たちのお陰で、生徒は本当に充実した経験をする事ができた。心から感謝申し上げます。

参加生徒も本当によく頑張った。わずか半日とはいえ、園児たちとのふれあいは心を熱くさせるものがあつたのではないだろうか。それぞれが感じたことをしっかり心に刻み込んで欲しい。そして、この経験をぜひぜひこれからの生活に、そして将来に活かして欲しいと願うばかりである。

**この広報は、新潟北高等学校ホームページ**

**[http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top\\_gakkou.html](http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.html)にも掲載しています。**